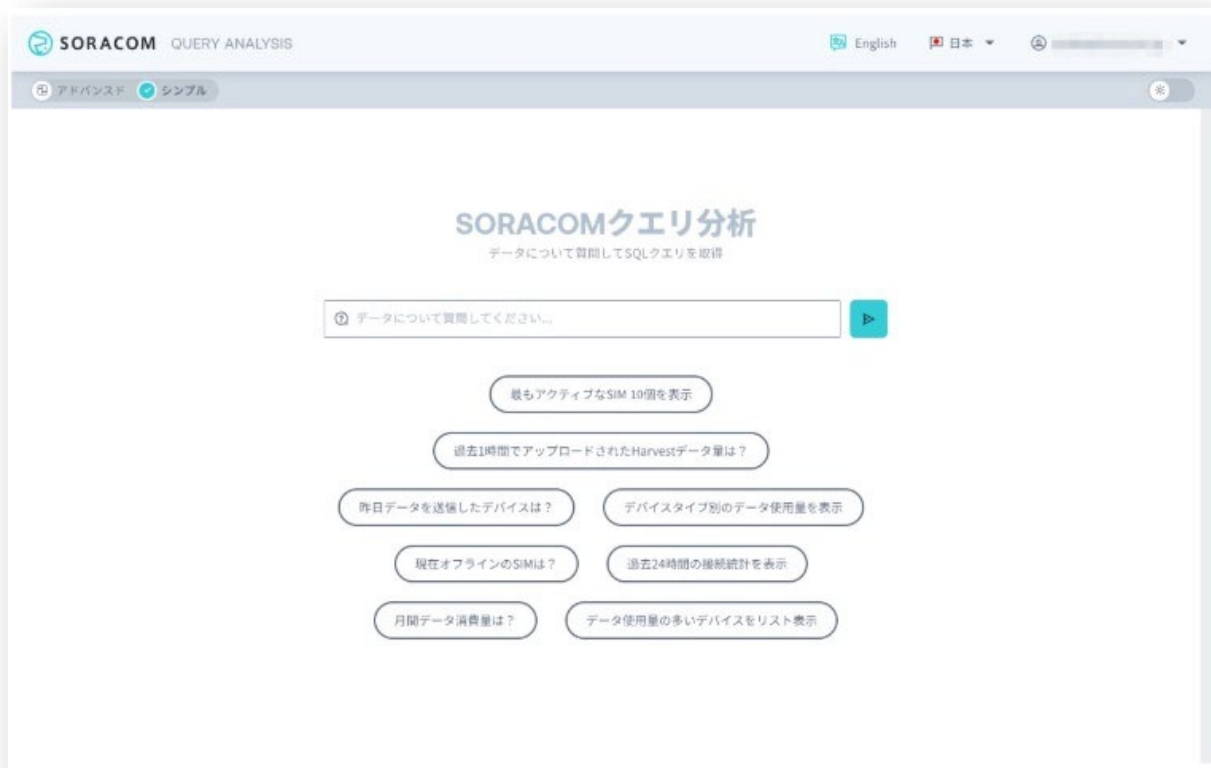


AIによる自然言語でIoTデータを分析、 「SORACOM Query」に全アカウント対象の無料プランを追加

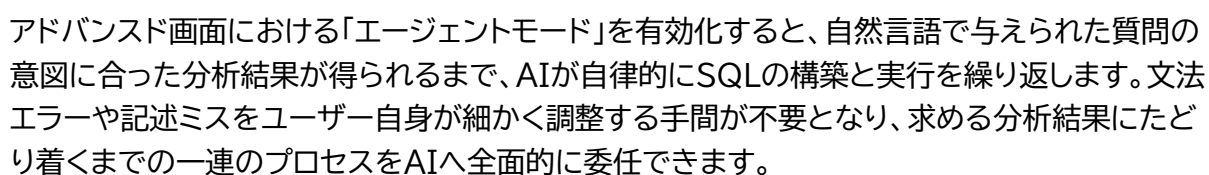
SQL アシスタント (AI) の強化やスキーマリファレンスサイトの公開など、
機能拡充も継続

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲)は、「SORACOM Query」に、すべてのSORACOMアカウントで無料でお試しいただける「Freeプラン」を追加したことをお知らせします。あわせて、SORACOM Queryをより使いやすくするため、AIの分析機能強化やスキーマリファレンスサイトの公開などの機能改善も行いました。これにより、SORACOMのユーザーは、AIによるIoTデータ分析の最新機能をすぐにお試しいただけます。



SORACOM Queryは、ユーザーに紐づく回線管理データやSORACOMプラットフォーム上に蓄積されたIoTデータをSQLで抽出・分析できるサービスです。例えば、分刻みの通信量集計や複数の回線をまとめた接続状態の傾向調査といった、ユーザーコンソールで確認できる情報

ユーザー画面では、AIを用いた自然言語によるSQL構築を統合しており、IoTデータの活用をサポートします。データ分析初心者向けのシンプル画面では、チャット画面から「先月データ通信量が多かった機器は？」「センサーの値はどう変化している？」といった質問を入力するだけでAIが自動でSQLを構築・実行、データ集計まで行い、データテーブルやグラフにて可視化します。



この度、これまで最大2か月間だったお試し利用を、期限のないFreeプランに変更しました。AI/IoT通信プラットフォームSORACOMをご利用中であれば自動で適用され、申し込みは不要

です。利用期限はなく、1アカウントにつき合計500回まで無料で分析をお試しいただけます。500回を超える利用に際しては、有料プランの契約が必要です。

また、SORACOM Queryで分析できるデータの一覧をまとめた「[スキーマリファレンスサイト](#)」を公開しました。AI向けと人向けのファイルが公開されており、どのようなデータを扱えるのかを確認でき、より正確なSQLを生成できるほか、お客様のAIからも参照できます。

さらに、お客様がお持ちのデータをSORACOMのデータと組み合わせて分析できる新機能をEarly Access(先行提供)として提供開始しました。例えば機器の設置場所をまとめた一覧を取り込めば、地域や拠点ごとの利用状況をまとめて把握できるようになります。詳細は、[ウェブサイト](#)、[ユーザードキュメント](#)をご覧ください。

ソラコムは「IoTテクノロジーの民主化」を掲げ、IoTを軸に最新技術をより使いやすく提供することで、多くの活用事例とイノベーションの創出を目指します。

ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。

公式IRサイト・ニュースレター

- IRサイト

<https://soracom.com/ja/ir>

- IRニュースレター登録

<https://soracom.com/ja/ir/newsletter>

関連レポート・公式SNS

- シェアードリサーチレポート

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A>

- ソラコムIR公式note

https://note.com/soracom_ir

- ソラコムIR公式X

https://x.com/SORACOM_IR

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報

担当:田渕

pr@soracom.jp